



Nobuko IMAI

2023年 (令和5年) 2月12日 日 Sun 15:00 開演 (14:30開場) Start (14:30 Open) 東京文化会館 小ホール Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

出演

ヴィオラ：今井信子

ピアノ：伊藤 恵

Viola: IMAI Nobuko

Piano: ITOH Kei

曲目

シューマン：『おとぎの絵本』Op.113

シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ D821

ドヴォルザーク：民謡風の歌曲 Op.73 B146

武満 徹：鳥が道に降りてきた(1994)

レベッカ・クラーク：ヴィオラとピアノのためのソナタ(1919)

SCHUMANN: Märchenbilder, Op.113

SCHUBERT: Arpeggione Sonata, D821

DVOŘÁK: V národním tónu, Op.73, B146

TAKEMITSU Toru: A Bird Came Down the Walk (1994)

Rebecca CLARKE: Sonata for Viola and Piano (1919)



【11月12日(土)発売】全席指定

S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円 25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円

※B席・25歳以下席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。

※東京都のガイドライン等に基づき販売いたします。収容定員制限と販売状況に応じ、今後販売を停止する場合がございます。予めご了承ください。

※最前列にはA列です。

※発売日には全席を販売します。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス(要予約・有料・定員あり・2/3(全)17時締切)があります。イベント託児・マザーズ：0120-788-222

お申込み

▶ 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t-bunka.jp

▶ チケットぴあ
t.pia.jp

▶ イープラス
eplus.jp/t-bunka/



(公演詳細はこちら)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいませよう願いたします。
t-bunka.jp/info/5673/



日本が生んだ国際的な大ヴァイオラ奏者である今井信子。長年にわたって世界のヴァイオラ界をリードし、ソロ奏者として卓越した技量と彫りの深い表現でもってヴァイオラのすばらしさを聴衆に知らしめるとともに、室内楽でもめざましい活動を展開、また教育者として優れたヴァイオラ奏者を育て上げてきた。今日の世界的なヴァイオラ奏者のほとんどが何らかの形で彼女と関わりがあるといえるほどに、国際的なヴァイオラ界における彼女の存在は大きい。

今回のリサイタルでは、シューベルト、シューマン、ドヴォルザークのロマン的な味わいを持つ名品から、彼女のために書かれた武満徹の晩年の作品、そして女性作曲家でヴァイオラ奏者だったレベッカ・クラークの傑作ソナタという多彩なプログラムをとおして、ヴァイオラの持つ表現力の幅広さを明らかにしてくれるだろう。ピアノを大ベテランの伊藤恵が受け持つのも楽しみだ。名手ふたりによる円熟の演奏をじっくりと味わいたい。

寺西基之(音楽評論家)



IMAI Nobuko (Viola)

今井信子 (ヴァイオラ)



桐朋学園大学卒業、イェール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクール最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル、ロンドン響、パリ管等と共演。室内楽ではアルゲリッチ、シフ、クレーメル、マイスキー、五嶋みどりらと共演。武満徹<ア・ストリング・アラウンド・オータム>など世界初演も多い。2003年ミケランジェロ弦楽四重奏団を結成。20年の退団までベートーヴェン・ツィクルスやレーラ・アウエルパッハの新作初演など様々なプロジェクトを行った。日本では22年に30回を迎えたくヴィオラスペースの企画・演奏に携わるほか、東京国際ヴァイオラコンクールをスタートするなど、ヴァイオラ界をリードする存在としてめざましい活躍を続けている。これまでにフィリップス、BIS等から40を超えるCDをリリース。著書に『憧れ ヴィオラとともに』(春秋社)がある。エイボン芸術賞、芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モービル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。現在アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院等で後進の指導を行っている。

ITOH Kei (Piano)

伊藤 恵 (ピアノ)

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。ミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響(現hr響)、ベルリン響、チェコ・フィルの定期公演に出演。日本ではN響をはじめ、各オーケストラと共演。録音はシューマン・ピアノ全曲録音他多数。2007年秋、シューマン・ピアノ全曲録音完成記念コンサートを行う。「シューベルト ピアノ作品集6」が15年度レコード・アカデミー賞(器楽部門)、第70回文化庁芸術祭賞を受賞。08年から15年までシューベルトを中心としたリサイタルを開催。18年からはベートーヴェンを中心としたリサイタルを開始。最新盤は「ベートーヴェン ピアノ作品集2」(フォンテック)。93年日本シヨパン協会賞、94年横浜市文化賞奨励賞受賞。18年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する(Enjoy Concerts!)、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した(Workshop Workshop!)、そのほかの教育普及プログラムの《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

12月7日(水) 19:00 開演

鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン アンサンブル

～スペシャリストによるバロックの夕べ～

プラチナ・シリーズ 3



出演 鈴木優人(チェンバロ) 鶴田洋子(フルート・トラヴェルソ)
三宮正満(オーボエ) 若松夏美(ヴァイオリン)
山本 徹(チェロ)

曲目 テレマン:『ターフェルムジーク』第1集より 四重奏曲ト長調 TWV43:G2
～フルート、オーボエ、ヴァイオリン、チェンバロのための
J.S.バッハ:ソナタ短調 BWV1020 ～オーボエとチェンバロのための
J.S.バッハ:『音楽の捧げもの』BWV1079より
3声のリチェルカレ～チェンバロのための
トリオ・ソナタハ短調～フルート、ヴァイオリン、チェロ、チェンバロのための
6声のリチェルカレ～フルート、オーボエ、ヴァイオリン、チェンバロのための

2023年1月11日(水) 19:00 開演

ディオティマ弦楽四重奏団

～精緻の極限、さらにその先へ～

プラチナ・シリーズ 4



© Iyodoh kaneko

出演 ユン・ベン・チャオ(第1ヴァイオリン) レオ・マリエ(第2ヴァイオリン)
フランク・シュヴァリエ(ヴァイオラ) ビエール・モルロ(チェロ)

曲目 ツェムリンスキー:弦楽四重奏曲第1番イ長調 Op.4
リゲティ:弦楽四重奏曲第2番
ブラームス:弦楽四重奏曲第2番イ短調 Op.51-2

全席指定

S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円

25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円



- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分